

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	水辺環境の整備					款 05	項 03	目 03	事業 002	整理番号	389	
現担当課名	土木計画課					係名	施設整備グループ		連絡先	3429	昨年度 整理番号	398
上位施策No・施策名	11	グリーンインフラを活用した都市環境の形成					予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成13年度	実行計画事業	分野	03	施策	11	計画事業	05				
令和6年度 担当課名	土木計画課					事業評価区分	一般					

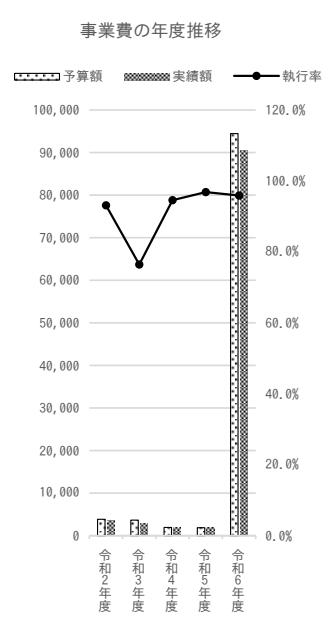
令和6年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	根拠法令等
区内3河川（神田川・善福寺川・妙正寺川）の流域住民・一般利用者	河川法 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例第2条表78
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○河川を健全な状態に保つよう、河川管理施設の調査・補修等を適切に行い、区民が安心して暮らせる治水安全性を確保する。 ○自然環境に配慮した河川維持管理や、住民等との連携意識啓発を進め、潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図る。	○老朽化した河川管理施設（護岸・河床・河川管理用通路等）の詳細点検調査や補修工事を行う。 ○善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針に沿い、区民参加型の啓発イベントの実施、環境活動の支援などを行う。 ○都施行の河川事業に際して協議・調整を行い、自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。

指標、総事業費 (Plan · Do)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和5年度			
				計画	15	16	17	18	計画	15	16
	水鳥一斉調査（20年度からの累計）		回	実績	15	16	17	18	達成率	100.0%	100.0%
				計画	-	-	-	-	実績	-	-
				達成率	-	-	-	-	計画	-	-
	水鳥一斉調査参加者数	計画値は直近5年間の平均参加者数	人	実績	225	264	248	-	達成率	75.0%	91.0%
成果指標	分類 行政サービス成果指標			計画	300	290	270	260	実績	-	-
	みどりや水（河川等）とのふれあいを実感している区民の割合	区民意向調査による	%	達成率	75.0%	91.0%	91.9%	-	計画	80	80
	分類 区民満足度指標			実績	76	76	79	-	実績	76	79
				達成率	95.0%	95.0%	98.8%	-	達成率	95.0%	98.8%

事業費	人件費	財源	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			千円	予算額	3,851	3,658	1,934	1,873	94,448
				実績額	3,586	2,796	1,829	1,814	90,555
常勤職員分 (再任用含)	上記以外の職員		千円	執行率	93.1%	76.4%	94.6%	96.8%	95.9%
				予算額	13,426	12,244	7,509	8,318	15,305
				実績額	14,795	13,432	8,068	8,873	12,406
総事業費 (事業費+人件費)			千円	執行率	110.2%	109.7%	107.4%	106.7%	81.1%
				予算額	0	0	0	0	0
				実績額	0	0	0	0	0
受益者負担分 ①	国・都からの 補助金 ②	その他の 補助金等 ③	千円	執行率	-	-	-	-	-
				予算額	0	0	0	0	0
				実績額	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)			千円	執行率	-	-	-	-	-
				予算額	0	0	0	0	0
				実績額	0	0	0	0	0
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)			千円	執行率	106.4%	102.1%	104.8%	104.9%	93.8%
				予算額	17,277	15,902	9,443	10,191	109,753
				実績額	18,381	16,228	9,897	10,687	102,961
				執行率	-	-	-	-	-



特記事項

事業費が前年度に比べ増額となった理由は、神田川及び善福寺川の詳細調査や縦横断測量調査委託費の増によるものです。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	神田川河川縦横断測量調査委託	1	件	31,194
	善福寺川河川縦横断測量調査委託	1	件	41,034
	杉並区内河川による詳細調査・設計業務委託	1	件	14,850
	水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	887
	その他 (水鳥一斉調査謝礼金の支出ほか)			2,590

取組成果	神田川及び善福寺川において令和5年度の河川点検を踏まえて、補修が必要な箇所について、詳細調査を実施しました。また、適切な河川維持管理を行うため、基礎資料となる縦横断測量を実施しました。 「水鳥の棲む水辺」創出関連では、小学生及び保護者248名が参加して区民と協働で取り組む水鳥一斉調査を実施しました。善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムでは、グリーンインフラに関する講演、小学校や民間団体による善福寺川に関する活動報告を行い、4名のパネリストによる善福寺川流域に棲む多様な生き物についてディスカッションを行いました。来場者は156名でした。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	一級河川である区内3河川（神田川、善福寺川、妙正寺川）は、都条例に基づき区が維持管理を担っています。区内の河川は東京都河川維持管理基本方針をもとに、現在、東京都第三建設事務所において河川維持管理計画を作成中ですが、策定後はそれを基本とした補修計画を区において作成する必要があります。また、補修にあたっては現状の状態など基本情報の整理や毎年杉並土木事務所で実施する河川点検の結果等をもとに、計画的に補修設計・工事を行っていく必要があります。 水鳥一斉調査は解説員の高齢化や増加傾向にある参加者に対応するため、令和6年度は地域大学主催による、「水鳥等調査・解説員育成講座」を実施し、講座参加者は見習い生として水鳥一斉調査に参加しました。将来の解説員を見据え、今後、講座参加者には補助解説員として水鳥一斉調査への参加を呼びかけていく必要があります。善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムは、行動方針に関連した行政の事業や民間団体の活動の報告等を通じて、区民の方々へ善福寺川の環境や動植物に対する関心度を高め、共感の輪を広げていく重要な取組で、身近な水辺環境を通じて生物多様性の創出・保全、雨水浸透による水循環などグリーンインフラの重要性を知る場になります。そのため、シンポジウムのプログラムは、これから進める区内のグリーンインフラに関わる取組状況や、将来を担う子供たちをはじめ若い世代が関心を持てる内容にするなど工夫する必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	河川維持管理については、善福寺川の流量や湧水の状況を把握するため、8月に流況調査の委託契約を締しました。9月から区間ごとに河川流量の調査を行い、湧水等が見込まれる区間の把握を行い、河川環境の適切な維持管理を行うための基礎資料として取りまとめています。 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムは、プログラムの検討に合わせて、出演者などと調整を行っています。水鳥一斉調査は、令和8年1月の実施に向け、水鳥一斉調査の解説員への参加を依頼するとともに、令和6年度に実施した地域課主催の「すぎなみ地域大学」での解説員育成講座の受講者に対し補助解説員への参加調整を進めています。また、専門調査員による水鳥一斉調査の支援業務委託については、10月中旬頃の契約を目指して準備を行っています。
事業の方向性・改善策	善福寺川沿いなどの水辺は、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、動植物の生態系や水循環など環境面において貴重な役割を果たしています。将来を担う世代をはじめ幅広い世代が善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に関わっていこうことで、生物多様性への配慮を意識づけていき、良好な水辺環境の再生・創出につなげていきます。そのため、グリーンインフラの取組とも連携しながら、シンポジウムの開催などを通じ、区民の関心を高める工夫を行い、区民と行政との協働で啓発活動に取り組んでいきます。また、河川管理施設については、治水面の安全性や施設等の安全確保のために必要な調査や維持管理を東京都と連携しながら行っています。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	水辺環境の整備を今後も区民とともに継続して実施していくために、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針が策定から10年以上経過したことから、近年の気候変動やグリーンインフラの取組などを踏まえながら今後のあり方の検討を進めます。河川の維持管理については、引き続き東京都と連携を図りながら護岸や転落防止柵などの河川管理施設の状況を把握し、適切な維持管理を行うため、維持管理計画の策定に向けて検討を進めます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公園の維持管理						款 05	項 04	目 01	事業 001	整理番号	402
現担当課名	みどり公園課						係名 運営第一グループ	連絡先 内線3573	昨年度 整理番号	411	電話番号	
上位施策No・施策名	11	グリーンインフラを活用した都市環境の形成						予算事業区分	既定事業			
事業開始		実行計画事業	分野	03	施策	11	計画事業	04	03			
令和6年度 担当課名	みどり公園課						事業評価区分	施設維持管理				

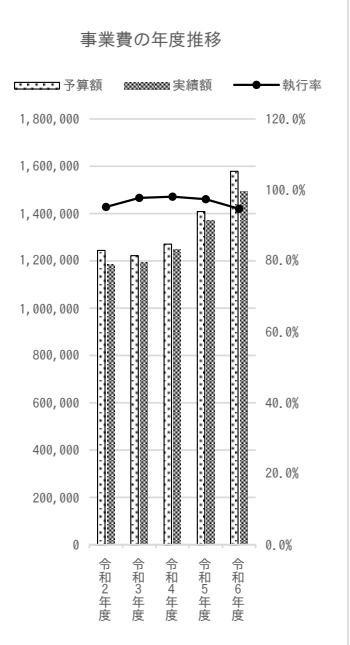
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 都市公園法 杉並区立公園条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○区民が安全で快適に利用できる公園にする。 ○多世代の方様々な目的で利用される公園に日頃寄せられる要望について、現在のニーズに合ったルールへと見直しを進める。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	計画 実績 達成率	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
					-	-	-	-
					-	-	-	-
成果指標					-	-	-	-
					-	-	-	-
	分類				-	-	-	-
分類				計画 実績 達成率	-	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	1,244,104	1,222,045	1,270,806	1,408,551	1,578,787	1,762,764
		実績額	1,184,428	1,194,584	1,246,551	1,371,705	1,494,908	-
		執行率	95.2%	97.8%	98.1%	97.4%	94.7%	-
人件費	千円	予算額	192,693	165,778	175,839	149,258	142,169	131,230
		実績額	208,971	171,689	168,658	155,272	164,363	-
		執行率	108.4%	103.6%	95.9%	104.0%	115.6%	-
上記以外の職員	千円	予算額	616	130,971	132,668	139,396	166,366	214,274
		実績額	96,142	134,505	138,293	145,427	202,899	-
		執行率	15607.5%	102.7%	104.2%	104.3%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	1,437,413	1,518,794	1,579,313	1,697,205	1,887,322	2,108,268
		実績額	1,489,541	1,500,778	1,553,502	1,672,404	1,862,170	-
		執行率	103.6%	98.8%	98.4%	98.5%	98.7%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	-	-
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	1,437,413	1,518,794	1,579,313	1,697,205	1,887,322	2,108,268
		実績額	1,489,541	1,500,778	1,553,502	1,672,404	1,862,170	-
		執行率	103.6%	98.8%	98.4%	98.5%	98.7%	-



特記事項

特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	園地清掃業務委託	304	園	280,205
	樹木、花壇、除草等管理委託	335	園	287,555
	大規模公園等の管理運営委託	9	園	323,590
	その他 (その他の園地維持管理費ほか)			603,558

取組成果	<p>公園利用者が快適にご利用できるよう利用頻度に応じて定期的に清掃するとともに、計画的な樹木の剪定、除草などを行いました。また、各種設備の保守や公園施設の修繕、夜間警備パトロールの委託等を行い、安全性の確保に努めました。</p> <p>公園利用ルールについては、区に寄せられる要望のうち、喫煙やボール利用など頻度の高い5項目について、公園利用者アンケート等をもとにルールの見直しを進め、令和6年7月から見直したルールの試行を実施しました。試行中に実施したアンケート結果では禁煙化やボール利用の緩和などについて概ね7割の方が評価していることから令和7年4月から新しい公園利用ルールを本実施することとしました。</p>
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	公園を良好な状況に保つため、定期的な園地清掃、樹木管理、各種点検・設備保守等の維持管理を行いました。また、令和6年7月から施行を始めた新しい公園利用ルールについては、試行中のアンケートや意見の結果も踏まえ、令和7年度4月から新しい公園利用ルールを実施しました。
事業の方向性・改善策	園地清掃業務等の日常管理及び公園施設の適正な維持管理に努めていきますが、遊具等の老朽化などによる事故も報告されているため、遊具のリニューアルを進めるとともに遊具点検を強化する必要があります。また、今年度より実施している新たな公園利用ルールは、多くの利用者にご理解をいただいている一方で、一部でルールの認識違いによる利用者間のトラブルが発生しているため、より効果的な周知方法の改善を図っていきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	遊具については、専門技術者による遊具点検を2年に1回実施していますが、さらに安全性を高めるため、毎年実施します。また、新しい公園利用ルールについて、より効果的な周知方法の改善を図ってまいります。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	遊具点検については、現在は専門技術者による点検は2年に1回で、補完として各公園緑地事務所で点検作業を年1回行っている状況ですが、国においても年1回の専門技術者による点検が必要とされているため、専門技術者による点検を毎年実施する必要があります。また、今年度より実施している新たな公園利用ルールは、多くの利用者にご理解をいただいている一方で、一部でルールの認識違いによる利用者間のトラブルが発生しているため、より効果的な周知方法の改善を図る必要があります。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	遊び場の維持管理					款 05	項 04	目 01	事業 002	整理番号	403
現担当課名	みどり公園課					係名 運営第一グループ	連絡先	3573	昨年度	412	
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成					電話番号	予算事業区分	既定事業	整理番号		
事業開始	昭和46年度		分野	03	施策	11	計画事業				
令和6年度担当課名	みどり公園課					事業評価区分	施設維持管理				

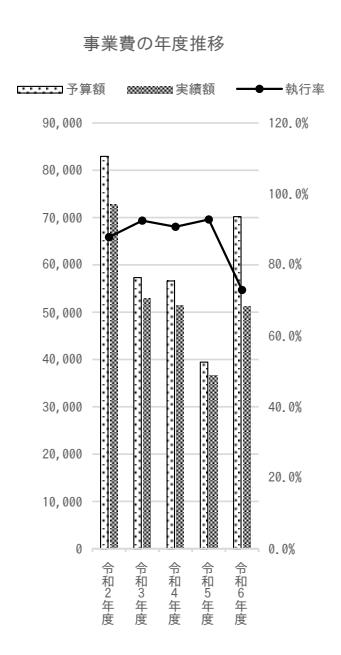
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区立遊び場 (15箇所) 遊び場利用者	杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○区民が安全で快適に利用できる遊び場にする。	○公園の先行取得用地や他の公共団体、地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備を行う。 ○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理を行う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	計画						
	実績						
成果指標	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	82,935	57,311	56,598	39,437	70,195	49,906
		実績額	72,832	52,996	51,355	36,597	51,189	-
		執行率	87.8%	92.5%	90.7%	92.8%	72.9%	-
人件費	千円	予算額	26,068	18,676	20,553	19,034	17,124	15,294
		実績額	27,045	23,654	23,614	20,840	17,338	-
		執行率	103.7%	126.7%	114.9%	109.5%	101.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	616	3,628	2,940	2,942	4,188	6,036
		実績額	726	1,838	1,839	1,523	5,107	-
		執行率	117.9%	50.7%	62.6%	51.8%	121.9%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	109,619	79,615	80,091	61,413	91,507	71,236
		実績額	100,603	78,488	76,808	58,960	73,634	-
		執行率	91.8%	98.6%	95.9%	96.0%	80.5%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	-
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	109,619	79,615	80,091	61,413	91,507	71,236
		実績額	100,603	78,488	76,808	58,960	73,634	-
		執行率	91.8%	98.6%	95.9%	96.0%	80.5%	-



特記事項

木製遊具改修工事及び真砂土舗装改修工事により、事業費が増加しました。また、木製遊具改修工事の工期を延伸し、翌年度に繰り越しを行ったため、執行率が低くなっています。
令和7年度への繰越事業費：7,848,000円

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	遊び場の管理運営（光熱水費、日常保全等）	15	所	23,606
	遊び場の樹木等管理	15	所	8,544
	遊び場清掃	15	所	5,140
	その他（遊び場の維持補修費、設備保守ほか）			13,899

取組成果	利用者が快適にご利用できるよう、公園と同様に清掃、樹木剪定、除草など適切に施設管理を行いました。また、遊び場96番の木製遊具や舗装改修工事を行いました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	定期的な遊び場園地清掃、日常保全、樹木管理及び遊具改修を行いました。
事業の方向性・改善策	遊び場は区立公園の補完的な役割を担っており、貴重なオープンスペースとして整備し開放しています。今後も、地域の補完的役割を担っている遊び場の確保を図るとともに、遊び場利用者が安全で快適に利用していただけるよう適切な維持管理に努めていきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	遊び場の利用状況等を踏まえ、適切な維持管理を行っていきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公園等の整備						款 05	項 04	目 01	事業 003	整理番号	404	
現担当課名	みどり公園課						係名	整備グループI		連絡先	3582	昨年度 整理番号	413
上位施策No・施策名	11	グリーンインフラを活用した都市環境の形成						予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成24年度	実行計画事業	分野	03	施策	11	計画事業	06	07	08	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和6年度 担当課名	みどり公園課						事業評価区分	一般					

令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区立公園、児童遊園 公園利用者	都市公園法 地方自治法第281条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区民がグリーンインフラを感じ、学び、考え、行動できるよう、公園整備等においても取組を推進する。 ○区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができる。また、地域の防災性が向上して安全・安心に生活できるとともに、乳幼児から高齢者まで遊びや休息、身体づくりの場として活用できる。	○地域住民の意見を聞きながら整備内容を検討し、公園の新設及び拡張整備を行う。 ○区民一人当たりの公園面積5m ² を目標に公園を整備する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
活動指標	当該年度に新設、拡張整備した公園面積				計画	361	1,587	14,058	5,121	
	区立公園の面積（累計）			m ²	実績	361	1,587	14,062	-	
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
成果指標	区民一人当たりの公園面積	年度当初の区内公園面積÷人口	ha		計画	66.75	66.91	68.3	68.8	
					実績	66.75	66.91	68.3	-	
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
分類	社会成果（課題）指標	身近な公園の充足率	身近な公園から250mの範囲の面積÷杉並区面積×100	m ² /人	計画	2.22	2.27	2.3	2.31	
					実績	2.25	2.27	2.3	-	
					達成率	101.4%	100.0%	100.0%	-	
分類				%	計画	83.92	83.92	83.97	83.97	
					実績	83.92	83.92	83.97	-	
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	1,066,583	2,517,370	702,209	1,230,849	1,709,884	715,652
		実績額	1,054,284	2,486,184	670,277	1,181,393	1,327,822	-
		執行率	98.8%	98.8%	95.5%	96.0%	77.7%	-
人件費	千円	予算額	56,329	56,970	56,056	59,546	64,395	49,268
		実績額	62,911	67,141	64,294	64,725	66,764	-
		執行率	111.7%	117.9%	114.7%	108.7%	103.7%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	761	3,714
		実績額	363	368	368	190	929	-
		執行率	-	-	-	-	122.1%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	1,122,912	2,574,340	758,265	1,290,395	1,775,040	768,634
		実績額	1,117,558	2,553,693	734,939	1,246,308	1,395,515	-
		執行率	99.5%	99.2%	96.9%	96.6%	78.6%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	187,021	1,227,913	229,446	0	0	6,300
		その他の 補助金等 ③	161,396	981,972	129,888	0	213,969	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	86.3%	80.0%	56.6%	-	-	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	935,891	1,346,427	528,819	1,290,395	1,775,040	762,334
		実績額	956,162	1,571,721	605,051	1,246,308	1,181,546	-
		執行率	102.2%	116.7%	114.4%	96.6%	66.6%	-

事業費の年度推移

年度	予算額 (千円)	実績額 (千円)	執行率 (%)
令和2年度	1,066,583	1,054,284	98.8%
令和3年度	2,517,370	2,486,184	98.8%
令和4年度	702,209	670,277	95.5%
令和5年度	1,230,849	1,181,393	96.0%
令和6年度	1,709,884	1,327,822	77.7%

事業費の年度推移

年度	実績額 (千円)	執行率 (%)
令和2年度	1,054,284	100.0%
令和3年度	2,486,184	100.0%
令和4年度	670,277	77.7%
令和5年度	1,181,393	100.0%
令和6年度	1,327,822	66.6%

特記事項

- 令和6年度の事業費執行率が低くなっている理由は、下高井戸おおぞら公園整備工事やさぎはら公園整備工事などで予算の翌年度繰越を行ったためです。
- 令和5年度と比較して令和6年度の事業費が増加している理由は、下高井戸みんなの公園や下高井戸おおぞら公園拡張区域の用地取得を行ったためです。
- 成果指標の指標名を「区民一人当たりの都区立公園面積」から「区民一人当たりの公園面積」に見直すと同時に、指標説明についても見直しを行いました。これによる数値の修正はありません。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	荻外荘復原整備工事	1	園	625,155
	下高井戸みんなの公園用地取得費	1	箇所	345,266
	下高井戸みんなの公園整備工事	1	園	68,098
	下高井戸おおぞら公園拡張用地取得費	1	箇所	33,549
	その他 (梅里児童遊園拡張整備工事ほか)			255,754
取組成果	荻外荘復原整備については予定通りに竣工し、令和6年12月に荻外荘公園として開園しました。また、梅里児童遊園の拡張整備を行い、公園面積を増やすことができました。 下高井戸おおぞら公園第二期整備工事については、東京都発注の橋梁工事が入札不調となったことを受け、工期を延伸し、工事の完了予定時期は令和8年2月末から令和8年8月末へと変更となりましたが、令和8年度中の開園を目指し、着実に工事を進めています。 公園の設計に当たっては、ワークショップやアンケート調査等を行うことにより、近隣住民や公園を利用する子どもたちの意見を取り入れながら進めています。令和6年度に開園した下高井戸みんなの公園の設計においても、近隣の小学校・児童館等の協力を得て子どもたちへ直接アンケート調査を行いました。その結果、インクルーシブ遊具・オリジナル遊具を設置するなど、子どもたちの意見を取り入れた公園として整備することができました。			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	令和6年度は荻外荘公園と下高井戸みんなの公園を新規開園し、既設の公園についても梅里児童遊園の拡張整備を行いました。比較的大きな公園の新規開園を行うことができたことで、14,000平米あまりの公園面積を増やすことができました。公園整備は着実に進んでいますが、一人あたりの公園面積は目標値の半分程度にとどまっています。公園は区民に憩いや安らぎを与え、防災上も安全な公共空間となるため、今後も目標値に向けて引き続き公園を整備していく必要があると考えています。そのために、国、都、企業や個人の大規模敷地等の資産の動向を注視し、機会を捉えて的確かつ迅速に対応していくとともに、長期的な視点を持って区民の理解を得ながら取り組んでいく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	令和7年度は荻外荘公園展示棟が予定通り5月に竣工し、7月より一般供用を開始しました。すばら公園についても予定通り7月に竣工し、8月に開園しました。 下高井戸おおぞら公園は令和8年度中の開園を目指し、着実に工事を進めています。
事業の方向性・改善策	成果指標としている区民一人当たりの公園面積や身近な公園の充足率の拡充を進めています。公園は区民に憩いや安らぎを与え、防災上も安全な公共空間となる一方で、施設配置や利用マナーによっては近隣への迷惑施設になり得る場所です。そのため、計画段階からワークショップの開催やアンケート調査等により、地域の意見を幅広く取り入れ、住民本位の公園整備を進めています。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	令和6年度は下高井戸おおぞら公園整備工事やすばら公園整備工事で予算の翌年度繰り越しを行ったため事業執行率が低くなっていますが、令和7年度以降は改善を予定しています。買取申し出のあった生産緑地を公園とすることなどによりみどりの保全や公園面積の確保を取り組んでおり、今後も継続して公園等の整備を進めています。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	長期的な目標である区民一人当たりの公園面積5m ² の達成に向け、着実に公園整備を進めています。公園整備には多くの時間と費用を要するため、行政や企業、個人の敷地など土地の異動の動向を注視し、機会を捉えて迅速に対応していく必要があります。国や都の補助金を活用し、区民の理解を得ながら事業を実施します。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公園のリニューアル						款 05	項 04	目 01	事業 004	整理番号	405
現担当課名	みどり公園課						係名				連絡先	昨年度 整理番号
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成						電話番号				投資事業	414
事業開始	平成24年度	実行計画事業	分野 03	施策 11	計画事業	09 04 04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和6年度 担当課名	みどり公園課						事業評価区分				一般	

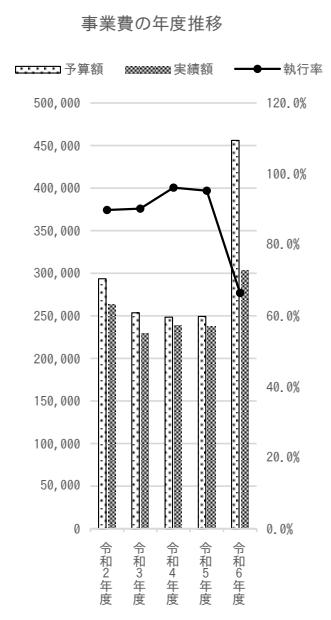
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 都市公園法 地方自治法第281条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○既設公園の全面、または部分改修を行い、魅力ある公園に再整備する。 ○老朽化した遊具などの施設を改修する。 ○雨水流出を抑制するため、公園敷地に雨水貯留・浸透施設を整備する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	多世代が利用できる公園づくり基本方針に基づき改修した公園数	区立公園内の改修した遊具数	園	計画	6	6	9	6
	「公園や広場」が良いと思っている人の割合		実績	6	5	9	-	
成果指標	分類 区民満足度指標		達成率	100.0%	83.3%	100.0%	-	
	遊具点検の結果、「全体的に健全」とされるA・B判定の遊戯施設の割合	A・B判定の遊戯施設数/区立公園内の遊戯施設数×100	基	計画	73	31	29	15
	分類		実績	73	31	27	-	
成果指標	「公園や広場」が良いと思っている人の割合		達成率	100.0%	100.0%	93.1%	-	
	分類 区民満足度指標		計画	80	80	80	80	
	遊具点検の結果、「全体的に健全」とされるA・B判定の遊戯施設の割合		実績	79.8	80	80	-	
成果指標	分類		達成率	99.8%	100.0%	100.0%	-	
	分類		計画	61.6	69.6	72.8	74.5	
	分類		実績	61.6	69.6	71.3	-	
成果指標	分類		達成率	100.0%	100.0%	97.9%	-	

事業費	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	千円	予算額	293,538	253,556	248,436	249,343	456,045	443,313	
		実績額	263,690	228,748	238,834	237,539	303,066	-	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	執行率	89.8%	90.2%	96.1%	95.3%	66.5%	-
	予算額	30,118	28,192	26,269	27,445	28,094	37,896		
	実績額	31,940	28,348	26,946	27,350	35,068	-		
上記以外の職員	予算額	106.0%	100.6%	102.6%	99.7%	124.8%	-		
	実績額	0	0	0	0	0	929		
	執行率	-	-	-	-	-	-		
総事業費 (事業費+人件費)	予算額	323,656	281,748	274,705	276,788	484,139	482,138		
	実績額	295,630	257,096	265,780	264,889	338,134	-		
	執行率	91.3%	91.3%	96.8%	95.7%	69.8%	-		
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	-	
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	16,499	16,499	15,155	0	0	5,000
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	22,011	20,563	0	20,183	-
特定財源 (①+②+③)	予算額	0	133.4%	135.7%	-	-	-		
	実績額	0	0	0	0	0	-		
	執行率	0.0%	133.4%	135.7%	-	-	-		
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	予算額	16,499	16,499	15,155	0	0	5,000		
	実績額	0	22,011	20,563	0	20,183	-		
	執行率	0.0%	133.4%	135.7%	-	-	-		
	予算額	307,157	265,249	259,550	276,788	484,139	477,138		
	実績額	295,630	235,085	245,217	264,889	317,951	-		
	執行率	96.2%	88.6%	94.5%	95.7%	65.7%	-		



特記事項

木製遊具改修工事及び公園トイレ建替え工事について工期を延伸し、翌年度に繰越を行ったため執行率が低くなっています。
令和5年度に契約不調になった公園トイレ建替え工事を当初予算として計上したため、事業費が前年度よりも増加しています。
令和7年度への繰越事業費：122,253,000

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	済美公園区公園施設改修工事	9	園	79,282
	公園施設長寿命化計画施設改修工事	15	園	63,911
	松庵公園球戯場改修工事	1	園	56,233
	雨水流出抑制対策工事	3	園	6,105
	その他 (定塚橋公園マンホールトイレ設置工事、設計委託、消耗品購入ほか)			97,535

取組成果	「杉並区多世代が利用できる公園基本方針」に基づき、ワークショップを通じて地域住民と話し合いながら公園施設の再配置や機能の見直しを行い、公園改修を進めました。令和6年度は済美公園区内の9公園について改修工事を行うとともに、井草公園区の改修計画を検討しました。「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づく公園施設の改修では、15公園で公園遊具の改修工事を行なったほか、松庵公園球戯場の改修工事を行いました。また、雨水流出抑制対策として、雨水貯留浸透施設（合計18m ³ ）をわかたけ公園、西永福公園、和田さくらの坂公園に設置しました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	多世代が利用できる公園づくり基本方針に基づき行なっている済美公園区公園施設改修工事や公園施設長寿命化計画に基づき行なっている施設改修工事において遊具改修等を行い、着実に遊具の更新が進んでいます。球戯場やトイレについても老朽化が進んでいることから、長寿命化計画に基づき計画的に改修工事を行なっています。なお、令和6年度は計画していたトイレ改修工事の一部が契約不調となりました。横算方法や発注方法を考慮しながら、契約不調により計画に遅れが出ないように改修を進めていきます。また、公園施設長寿命化計画（遊具）については、計画策定から8年が経過していることもあるため、改定作業を進めるとともに、トイレの建替えについては時間を要するため、設備の修繕と合わせたトイレの洋式化にも取り組む必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	多世代が利用できる公園づくりは、令和6年度にワークショップを行い、改修計画を取りまとめた井草公園を中心とした6公園については工事を進めるとともに、令和8年度工事予定の西永福公園を中心とした5公園についてワニクションを行なって改修計画案の作成及び設計を行ないます。公園施設長寿命化計画に基づき18公園の遊具の改修、1公園の球戯場の改修、6公園のトイレの建替えを行なうほか、来年度実施予定のトイレ建替えの設計も進めます。また、3公園において雨水流出抑制対策を行なっています。そのほか、公園トイレ適正配置方針の策定及び公園施設長寿命化計画の改定も進めています。なお、前年度から繰り越しした木製遊具改修及び公園トイレ建替工事は完了しました。
事業の方向性・改善策	多世代が利用できる公園づくりにおいては、ワークショップを行い区民等の意見を参考にしながら、複数の公園を対象とした機能分担・補完を図りつつ、子どもからお年寄りまで幅広い世代が利用できる遊具や施設の改修を進めています。公園施設の改修については、安心して公園を利用できるよう、長寿命化計画に基づき、遊具、球戯場、トイレの改修を計画的に進めています。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	多世代が利用できる公園づくりではワークショップを行うとともに、ロゴフォームを用いたアンケート調査を行い、広く意見を募集し、区民ニーズに応えた公園改修を行なっています。なお、執行率60%未満の理由としては、木製遊具改修工事及び公園トイレ建替工事について工期を延伸し、翌年度に繰り越を行なったためであります。令和7年4月に工事は完了しました。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	公園施設の改修については、「杉並区多世代が利用できる公園づくり基本方針」及び「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に行なっています。また、水害多発地域周辺の公園を中心に雨水流出抑制対策を行うことで、都市型水害による被害軽減を図っています。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	みどりを育てる						款 05	項 04	目 02	事業 001	整理番号	406
現担当課名	みどり公園課						係名 運営グループ	連絡先	3572	昨年度	415	
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成						電話番号	予算事業区分	既定事業	整理番号		
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	分野 03	施策 11	計画事業	03 01 04		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度 担当課名	みどり公園課						事業評価区分	一般				

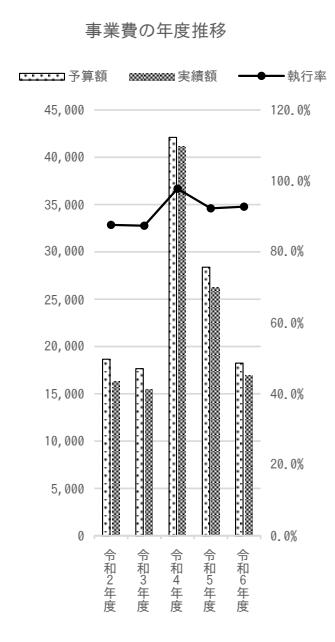
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 すぎなみ公園育て組実施要綱、花咲かせ隊実施要綱杉並区「みどりのボランティア杉並」設置要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○みどりの持つ多様な機能や価値について理解を深め、区民が自分ごととしてみどりを守り、増やす意識の醸成を図る。 ○みどりに関わるボランティアを育成し、活動を支援することで、区民主体でみどり豊かなまちづくりを目指す。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明			単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	みどりに触れ合えるイベントの開催数	「みどりのイベント」「落ち葉感謝祭」「炭焼き体験会」等の開催数	回	計画	3	3	3	3	3	3
				実績	3	3	3	3	3	3
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標	みどりの講座の開催数	みどりや自然とのふれあいに関連した講座の開催数	回	計画	2	2	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2	2	2
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
分類	植物を育てている区民の割合	令和4年度区政モニターアンケート調査の実績値	%	計画	-	90	90	90	90	90
	社会成果（課題）指標			実績	83.7	83.7	83.7	83.7	83.7	83.7
	公園のボランティア組織率			達成率	-	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%
分類	社会成果（課題）指標	ボランティアが入る公園数÷全公園数×100 ※一公園に複数団体が存在しても1として扱う	%	計画	100	100	100	100	100	100
				実績	32.24	31.45	30.8	30.8	30.8	30.8
				達成率	32.2%	31.5%	30.8%	30.8%	30.8%	30.8%

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	18,653	17,654	42,103	28,382	18,241	35,382
		実績額	16,341	15,425	41,180	26,188	16,917	-
		執行率	87.6%	87.4%	97.8%	92.3%	92.7%	-
人件費	千円	予算額	53,755	51,053	50,273	42,074	46,216	47,029
		実績額	56,691	54,435	56,548	57,256	49,605	-
		執行率	105.5%	106.6%	112.5%	136.1%	107.3%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	735	0	0	464
		実績額	1,088	1,103	1,103	761	4,643	-
		執行率	-	-	150.1%	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	72,408	68,707	93,111	70,456	64,457	82,875
		実績額	74,120	70,963	98,831	84,205	71,165	-
		執行率	102.4%	103.3%	106.1%	119.5%	110.4%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	-
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	72,408	68,707	93,111	70,456	64,457	82,875
		実績額	74,120	70,963	98,831	84,205	71,165	-
		執行率	102.4%	103.3%	106.1%	119.5%	110.4%	-



特記事項

- 事業費については、令和6年度はみどりの基本計画策定委託費等が無くなつたため、令和5年度と比べ減となつています。
- 成果指標実績（公園のボランティア組織率）が微減となつているのは、新規登録のボランティア団体数に比べて、構成員の高齢化等によつて活動を停止する団体数が増えているためです。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	花咲かせ隊公園花壇管理資材の給付	3	回	10,971
	みどりの新聞「みどりとひと」の発行	34,000	部	1,421
	緑化副読本「みどりとわたしたち」の発行	4,500	部	1,285
	公園育て組資材の給付	43	団体	896
	その他 (みどりのボランティア支援、みどりの講座の開催等)			2,344

取組成果	みどりの新聞はグリーンインフラや民有のみどりについてのほか、公園でのボランティア活動や身近な植物などの紹介をしました。あわせて区内小学校に緑化副読本4500部を配布し、授業等での活用を図ることでみどりが果たす役割の理解とみどりに親しみをつづくに貢献しました。花咲かせ隊、みどり育て組は、ボランティア活動として公園や児童遊園等の花壇管理など管理の一部を担い公園利用者をはじめ多くの人に良好なみどりを提供しました。区は花材や用具の提供などによりボランティアを支援し、区民が主体的に公園や市民緑地の維持管理に関わることを推進しました。また、「すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)実施要綱」を「杉並区すぎなみみどり育て組実施要綱」と改正し、屋敷林など民有のみどりの保全などに繋げるボランティア体制の構築を行いました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	緑化副読本は、小学5年生向けにみどりの役割や価値をわかりやすく説明していますが、更にみどりに対して興味を持つてもらえるよう、緑化副読本を活用した環境教育を区やボランティアなどが学校と連携して取り組んでいくことも必要です。多くの区立公園等で活動する花咲かせ隊やみどり育て組などのボランティアは、区が行う管理に加えて、清掃、花壇の維持管理などの活動を行っており、みんなが利用しやすい魅力ある公園を維持するためには不可欠な存在となっています。しかしながら、活動するボランティアの高齢化等で団体数やメンバーの減少が懸念されおり、新たな人材を育てる取組みが必要となります。区全体のみどりの7割を占める民有のみどりである屋敷林や農地の減少が危惧されます。身边にあるみどりの効用や必要性を幅広く区民に周知し理解してもらい、区民一人ひとりがみどりに関心を持ち、みどりに関する活動に取り組む必要があります。あわせて、要綱改正によりスタートするみどり育て組による屋敷林等の民有のみどりの保全活動の効果的なPRや取組の輪の拡大方法が課題です。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	みどりを身近に感じる機会となるみどりのイベントをボランティアとの協働により、6月に柏の宮公園で開催しました。来訪者は約2000名で、イベント内でみどりの講座(木の輪切りストラップづくり)、参加者374名)を実施し、参加者には日ごろ感じることが少ない木の香りも楽しんでいただきました。今後は12月に落ち葉感謝祭、翌年3月に炭焼き体験会のイベントを予定しています。花咲かせ隊は、5月に春花壇の植付けを実施し、この後秋、冬花壇の植替えを予定しています。みどり育て組については、屋敷林等の保全活動や公園維持管理活動に対して、資器材の配布などを行いました。引き続き資器材の配布などを行い適宜、ボランティア活動の支援を行っていきます。みどりの新聞は、7月に1回目の発行をしました。ボランティアとの協働によって記事を作成しており、11月に2回目の発行を予定しています。緑化副読本は、翌年3月の配布に向けて準備を進めています。
事業の方向性・改善策	公園・公共施設のほか、屋敷林や農地等の民間のみどりを保全していくためには、地域の理解と協力が必要です。花咲かせ隊、みどり育て組など様々なボランティアの取組を支援するほか、みどりの新聞、みどりのイベント等の開催を通じて、区民共有の財産としてみどりを守り育てていく意識を区民に拡げる取組を継続していきます。また、ボランティア活動を維持するためには不可欠な、新しい人材を確保するため、PRにも注力します。広報、HPやSNSの活用のほか、多世代が利用できる公園づくりのワークショップ等の機会にボランティア活動の周知に努めています。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	花咲かせ隊、みどり育て組等のボランティアが活動を維持できるよう引き続き支援をしていきます。みどりの新聞の発行やみどりのイベント等の開催を通して、区民にみどりを守り育てる意識を共有してもらう取組を継続していきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	花咲かせ隊等のボランティア活動を継続していくように人材を確保するため、SNSの活用やワークショップ等の機会を捉えてボランティア活動の周知を行うなど、ボランティアの輪を広げる方法を工夫します。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	みどりを創る					款 05	項 04	目 02	事業 002	整理番号	407	
現担当課名	みどり公園課					係名	計画・事業グループ		連絡先	3595	昨年度 整理番号	416
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成					予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	分野	03	施策	11	計画事業	02				
令和6年度 担当課名	みどり公園課					事業評価区分	一般					

令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区内の土地	杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 杉並区接道部緑化助成金交付要綱、杉並区屋上・壁面緑化助成金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○緑化計画に基づき、一定基準以上の緑化を指導することによって みどり豊かなまちを創る。 ○道路に接した部分の緑化や、建物の屋上・壁面の緑化費用を助成 することでみどり豊かなまちを創る。	○提出を義務付けた緑化計画に基づき、接道部緑化の延長、緑地面積、 樹木本数が一定基準となるよう、区内で開発・建築行為等を行う事業者 や区民に緑化指導する。 ○道路に接した部分を生けがきや植え込みで緑化する費用や、建物の屋 上・壁面を緑化する費用の一部を助成する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	緑化計画の受理件数	緑化計画書、緑化計画概要書の提出を受け 受理した件数		件	計画	1,800	1,800	1,800	1,800
					実績	1,611	1,623	1,856	-
					達成率	89.5%	90.2%	103.1%	-
成果指標	緑化助成の完了件数	接道部緑化、屋上・壁面緑化の助成金を申 請し、緑化完了した件数		件	計画	63	63	63	63
					実績	13	11	7	-
					達成率	20.6%	17.5%	11.1%	-
分類	計画緑地面積達成率	計画緑地面積 ÷ 基準緑地面積 基準緑地面積 = 敷地面積 × (1 - 建蔽率) × 要 綱に基づく緑化率		%	計画	100	100	100	100
	行政サービス成果指標				実績	115	110	115	-
	接道部緑化助成延長				達成率	115.0%	110.0%	115.0%	-
分類	行政サービス成果指標	接道部緑化助成によって緑化した延長		%	計画	350	350	350	350
					実績	152	127	44	-
					達成率	43.4%	36.3%	12.6%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	114,440	113,551	122,209	126,523	129,627	139,497
		実績額	107,025	111,094	114,317	117,636	121,098	-
		執行率	93.5%	97.8%	93.5%	93.0%	93.4%	-
人件費	千円	予算額	45,612	38,464	33,801	38,243	31,124	30,885
		実績額	48,439	40,407	37,834	34,850	32,050	-
		執行率	106.2%	105.1%	111.9%	91.1%	103.0%	-
上記以外の職員	千円	予算額	2,772	5,442	5,513	5,517	6,091	9,982
		実績額	3,991	7,350	7,356	7,233	7,429	-
		執行率	144.0%	135.1%	133.4%	131.1%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	162,824	157,457	161,523	170,283	166,842	180,364
		実績額	159,455	158,851	159,507	159,719	160,577	-
		執行率	97.9%	100.9%	98.8%	93.8%	96.2%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	0
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	162,824	157,457	161,523	170,283	166,842	180,364
		実績額	159,455	158,851	159,507	159,719	160,577	-
		執行率	97.9%	100.9%	98.8%	93.8%	96.2%	-

事業費の年度推移

■予算額 ■実績額 ●執行率

140,000	120,000	100,000	80,000	60,000	40,000	20,000	0
120.0%	100.0%	80.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	
140,000	120,000	100,000	80,000	60,000	40,000	20,000	0

特記事項

・活動指標としていた「接道部緑化助成延長」を成果指標「接道部緑化助成率」に替わる成果指標とし、「緑化助成の完了件数」を新たな活動指標として設定し、活動・成果がより適切に確認できる内容としました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	公共施設の樹木維持管理委託	204	か所	116,648
	寄付樹木の活用	40	本・株	1,496
	緑化助成	7	件	1,458
	苗木の育成委託	6,000	本	1,359
	その他 (緑化計画・完了届の受付・審査、みどりのリサイクルほか)			137

取組成果	令和6年度は、655件の緑化計画書、1,201件の緑化計画概要書を受理し、事業者等が提出した緑化計画に基づき適切な緑化指導を行いました。7件の緑化助成によって接道部緑化、屋上緑化を増やすことができました。204箇所の公共施設について、樹木維持管理を行い、樹木の健全な生育とともに施設管理に支障のないよう樹木剪定等を行いました。そのほか、苗木を育成しイベント等を通じて区民に配布したり、住宅等で不要となつた樹木の寄付を受け公共施設等に植栽したりするなどして、みどりを増やす取組を行いました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	緑化計画による緑化指導は、住宅などの建て替えの機会を活用した効果的な取組ですが、令和6年度に提出された緑化計画書および緑化計画概要書を分析すると、建築計画敷地面積の合計（334,533m ² ）に占める基準緑地面積の合計（28,289m ² ）の割合が8.5%となり、みどりの基本計画が目指す緑被率25%を大きく下回っています。土地の売却などで敷地が分割され、小規模な住宅地になることが多く、その結果、敷地面積の減少以上に基準緑地面積が縮小し、駐車スペースや玄関へのアプローチ確保が優先され、緑化が困難になっています。今後はみどり施策だけではなく、まちづくり全体の視点で緑地を増やす必要があります。緑化助成では、みどり豊かな都市環境実現のため高い計画値を掲げ、令和6年度に7件の助成を行いましたが、計画件数と比較すると低調です。低調の理由は制度周知にあると考えており、接道部緑化助成ではプロック塀等安全対策支援やみどりのベルトづくり事業と連携し、より積極的に制度を周知し、緑化助成を活用して接道部緑化を増やす取り組みを進める必要があります。屋上・壁面緑化助成についても建て替えを機に緑化を検討してもらえるよう制度周知を図り屋上・壁面緑化を増やしていく必要があります。そのほか屋上・壁面緑化助成については、設置する緑化基盤の荷重によって建築物が構造上安全であることもあります。条件としていることから、助成申請をしやすいという意見があります。助成条件は他自治体の事例を参考に研究していく必要があります。緑化計画による緑化指導や緑化助成は、苗木の育成・配布や寄付樹木の活用とともに、民有地の緑を増やすための重要な取組です。みどりの持つ機能を地域の課題解決に活用するグリーンインフラの取組や、気候区民会議で提案されたみどりを増やす取組にも大きく関わります。これらの考え方を反映したみどりの基本計画の改定を踏まえてみどりを創る取組を進めていきます。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	8月14日現在、緑化計画書251件、緑化計画概要書433件を受理し、事業者等が提出した緑化計画に基づき適切な緑化指導を行いました。接道部緑化助成の申請を4件受け、申請を受けた内4件が助成金交付決定済みで、助成金交付決定済みの内1件は緑化工事が完了しています。これにより生けがき31.0m、植込み25.7m ² の緑化が見込まれます。
事業の方向性・改善策	緑化計画による緑化指導だけではみどりの基本計画が目指す緑被率を達成することは難しいといった課題はありますが、敷地面積に関わらず建築行為はすべて提出を義務づけている緑化計画制度は、住宅などの建て替え機会を通じてみどりを増やすことのできる効果的な取組のため継続していくきます。令和6年度には緑化計画書が655件、緑化計画概要書が1,201件の届出があり受付や審査が職員の大きな負担となっています。審査のマニュアル化や受付の一部をオンライン化するなどして負担軽減を図り、職員がまちづくり全体の視点で緑地を増やす取組の研究ができるような余裕を生み出します。緑化助成は接道部、屋上・壁面緑化とともに申請が低調であることから、これまで行ってきたパンフレット配布による周知に加え、制度を簡単にまとめた新たなパンフレットによって事業者だけでなく施主にも緑化助成制度が浸透するよう周知を図っていきます。また屋上・壁面緑化は他自治体事例を参考にしながら、建築物が構造上安全であるという条件を緩和できないか研究していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	緑化計画は現制度を継続していくことから、緑化助成は予算にかかる見直しではないため、予算は現状維持とします。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	緑化計画の受付や審査が職員の大きな負担となっていることから、マニュアル化やオンライン化など、手法の見直し改善を図ることで業務負担の軽減を図ります。緑化助成は助成条件の緩和を研究することで、より使いやすい制度を目指します。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	みどりを守る						款 05	項 04	目 02	事業 003	整理番号	408	
現担当課名	みどり公園課						係名	計画・事業グループ		連絡先	3595	昨年度 整理番号	417
上位施策No・施策名	11	グリーンインフラを活用した都市環境の形成						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	分野	03	施策	11	計画事業	01	04	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和6年度 担当課名	みどり公園課						事業評価区分	一般					

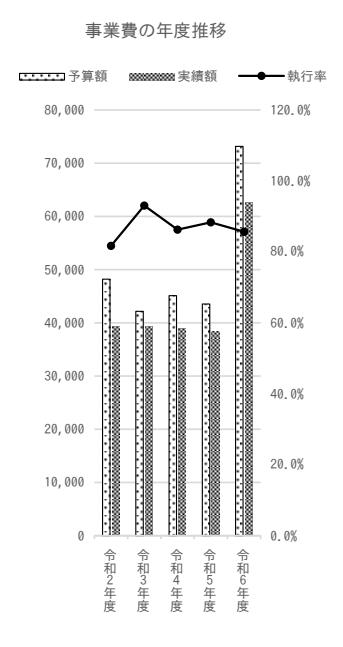
令和6年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	根拠法令等
区内の樹木、樹林、生けがき	杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 杉並区保護樹木等補助金交付要綱、杉並区貴重木保全事業実施要綱、都市緑地法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○一定規模以上の樹木や樹林、生けがきを所有者の同意のもと保護指定し、特に未来に残したい巨木や珍木については貴重木として指定し手厚く保全する。 ○区民に一般開放することで固定資産税等が非課税になる市民緑地契約制度を活用し、所有者の負担を軽減し屋敷林等の樹木を保全する。	○保護指定した樹木、樹林、生けがきは、倒木事故等に対応する損害賠償保険に区が加入するほか、所有者の維持管理費の負担軽減のための補助金交付を行う。 ○300m以上の樹林等を対象に所有者へ市民緑地契約制度活用の案内をし、所有者から活用の申し出を受けた後、市民緑地契約を締結し、市民緑地として整備、開設する。

指標、総事業費 (Plan・Do)

指標名		指標説明			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	貴重木保全事業を行った貴重木本数	貴重木保全要綱に基づき樹木診断、支障枝剪定、保全工事を行った貴重木の年間累計本数	本	計画	18	18	18	18	
				実績	10	11	10	-	
				達成率	55.6%	61.1%	55.6%	-	
成果指標	市民緑地契約制度の案内等を行った樹林等か所数	市民緑地指定に向けて、所有者に制度の案内郵送等を行った樹林等のか所数	所	計画	-	-	30	30	
				実績	-	-	102	-	
				達成率	-	-	340.0%	-	
成果指標	貴重木指定本数	貴重木に指定している累計本数	本	計画	74	74	75	78	
	分類 行政サービス成果指標			実績	75	75	75	-	
	いこいの森（市民緑地）の設置数			達成率	101.4%	101.4%	100.0%	-	
分類 行政サービス成果指標	分類 行政サービス成果指標		所	計画	3	3	4	6	
	いこいの森（市民緑地）の設置数			実績	3	3	4	-	
	分類 行政サービス成果指標			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	48,205	42,163	45,105	43,539	73,157	63,389
		実績額	39,382	39,230	38,910	38,458	62,678	-
		執行率	81.7%	93.0%	86.3%	88.3%	85.7%	-
人件費	千円	予算額	42,421	40,064	39,427	36,343	33,003	37,891
		実績額	45,693	41,458	41,182	43,483	33,943	-
		執行率	107.7%	103.5%	104.5%	119.6%	102.8%	-
上記以外の職員	千円	予算額	308	1,814	1,838	1,839	1,904	2,786
		実績額	1,088	1,470	1,471	1,142	2,322	-
		執行率	353.2%	81.0%	80.0%	62.1%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	90,934	84,041	86,370	81,721	108,064	104,066
		実績額	86,163	82,158	81,563	83,083	98,943	-
		執行率	94.8%	97.8%	94.4%	101.7%	91.6%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	0
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	90,934	84,041	86,370	81,721	108,064	104,066
		実績額	86,163	82,158	81,563	83,083	98,943	-
		執行率	94.8%	97.8%	94.4%	101.7%	91.6%	-



特記事項

- 活動指標（1）は貴重木指定本数から貴重木保全事業を行った貴重木本数に、活動指標（2）は保護樹木指定本数から市民緑地契約制度の案内等を行った樹林等か所数に変更します。活動指標（1）計画値は貴重木75本をおよそ5年に1度の周期で樹木診断等を補助できるよう想定したものです。成果指標（1）は貴重木保全率から貴重木指定本数に、成果指標（2）は保護樹木前年度比率からいこいの森（市民緑地）の設置数に変更します。
- 補助対象である保護樹木・保護樹林・保護生けがきが減少したことにより、計画より事業実績費が減少しました。
- 令和6年度は一部返還するいこいの森がありましたが、令和7年度は該当するいこいの森がないことから撤去工事費の減少により事業費が減少しています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助	523	件	22,060
	区営苗圃の維持管理	3,816	m ²	6,753
	市民緑地の新設	1	所	16,161
	貴重木の樹木診断、支障枝剪定、保全工事	10	年間累計本数	2,083
	その他 (生き物生息場所の保全資材購入、生産緑地の標識新設・撤去ほか)			15,621

取組成果	保護樹木等については、樹木5本、樹林474m ² を新規指定した一方で、樹木37本、樹林6,616m ² 、生けがき92.2mを解除しました。樹木、樹林、生けがきともに減少し、樹木は1,265本、樹林は324,407m ² 、生けがきは5,782mとなりました。 貴重木については、令和6年度の新規指定や解除ではなく、民間57本、公共18本の計75本でした。 また、所有者からの申し出を受けて、貴重木の樹木診断を7本、支障枝剪定補助を3本行い、その保全に努めました。 令和6年度は市民緑地契約を締結した南荻窪三丁目の屋敷林の施設整備を行い、区民がみどりに親しむことのできる場として、4か所目のいこいの森「さかうえいこいの森」を開設しました。

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>保護樹木・保護樹林・保護生けがきの新規指定よりも解除本数の方が多く、保護樹木等の減少に歯止めがかりません。杉並区環境白書から、解除の理由は枯死・衰弱が最も多く、近年の猛暑による樹勢への影響も一因と考えられる一方、診断による適正管理をすることで枯死等を防ぐことができる樹木もあつたと考えています。また、相続などによる土地の売却、住宅建設、苦情や近隣への配慮などが解除理由として挙げられます。とくに、苦情や近隣への配慮による指定解除については、所有者の樹木維持管理に対する費用的・労力的な負担や近隣住民のみどりに関する理解が充分ではないといったことが課題となっています。</p> <p>令和5年度の所有者向けアンケート調査結果では、樹木の維持管理費用に対する補助金が少ないという意見が多く寄せられたため、抜本的な制度改善が求められています。みどりの基本計画の改定を踏まえ、他自治体の保護指定制度との比較や保護樹木等の所有者、区民からの意見を収集し、補助金額の見直しや剪定費用を一定割合負担するなどの補助条件の見直しが必要です。</p> <p>保護樹木等は、杉並の原風景の形成やヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の向上など、グリーンインフラとしての重要な機能を持ち、杉並区が目指す「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現するための重要な要素です。そのため、貴重木の保全や生き物の生息場所の保全、いこいの森の維持管理とともに、みどり豊かな環境を保っていく方針を踏まえた制度の改善を含むみどりの基本計画を考えています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	8月14日現在、保護樹木等の新規指定は樹木が3件(4本)ありました。保護樹木等の解除は樹木が7件(8本)、生けがきが1件(25m)ありました。解除の理由としては土地の売買が1件、建築行為に伴うものが2件、枯死・衰弱が5件でした。
事業の方向性・改善策	保護樹木等が減少しているという現状を踏まえ、解除理由で最も多い枯死・衰弱を防ぐため樹木等が健康でいられる条件などを整理します。健康に生育できる環境にある保護樹木等については、剪定費用の一定割合補助といった補助条件の見直しとともに、補助金額の大幅増額によって所有者の維持管理に対する負担軽減を図ります。そのほか保護指定制度の見直しに留まらず、市民緑地の設置や緑化助成の活用によって、みどりを守り増やす取組をみどりの基本計画改定にあわせて幅広く検討していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	樹木の維持管理費用に対する補助金が少ないという意見が所有者から多く寄せられていることから、補助条件の変更とともに補助金の増額を目指し、区民や保護樹木等所有者とのワークショップ等を通じて意見を収集していきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	保護樹木等を健康に維持することを目的に、これまで貴重木を対象に行ってきた樹木診断や樹木保全工事の対象を拡大することを目指し、区民や保護樹木等所有者とのワークショップ等を通じて意見を収集していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	みどりの基金					款 05	項 04	目 02	事業 004	整理番号	409	
現担当課名	みどり公園課					係名	計画・事業グループ		連絡先	3593	昨年度 整理番号	418
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成					予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成14年度	実行計画事業	分野	03	施策	11	計画事業	03				
令和6年度 担当課名	みどり公園課					事業評価区分	一般					

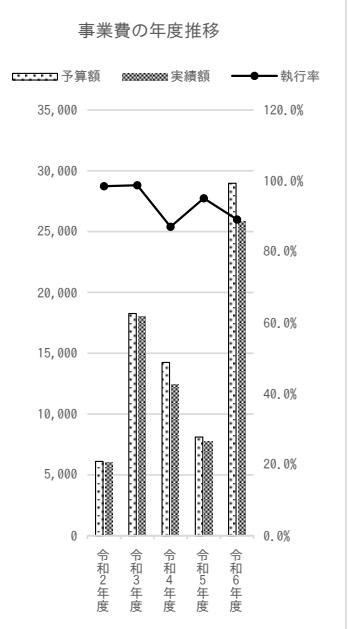
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
みどりの基金に興味を持つ区民、団体、事業者	杉並区みどりの基金条例 杉並区みどりの基金運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○区民等がみどりの基金へ寄附することを通じて、自分ごととしてみどりの保全・創出に関わることができる。寄附金は公園や市民緑地の整備に充てるなど、寄附の成果が実感できるよう目指す。	○区内のみどりを保全、創出する事業の財源に充てるため寄附を募る。 ○区を代表する公園等の整備として、荻外荘公園の整備（荻外荘の復原・整備）に関する事業の財源に充てるため寄附を募る。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	寄附を集める活動をしたイベント数	寄附を集める活動をした、区主催または後援のイベント数	件	10	10	10	10	10	10	10	10
				計画	13	11	17	130.0%	110.0%	170.0%	130.0%
				実績				達成率			
				達成率				計画	130.0%	110.0%	170.0%
								実績			
								達成率			
成果指標	年間寄附総額	みどりの基金の年間寄附総額	千円	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
				計画	11,703	6,986	24,088	実績			
				実績	117.0%	69.9%	240.9%	達成率			
	分類	みどりの基金の年間寄附件数	件	150	150	150	150	150	150	150	150
	年間寄附件数			計画	118	162	105	実績			
	分類			実績	78.7%	108.0%	70.0%	達成率			

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		事業費	人件費	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	6,107	18,267	14,243	8,109	28,974	16,589						
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
人件費	常勤職員分 (再任用含)	2,180	2,126	2,086	3,325	5,723	5,466						
	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額
	上記以外の職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	8,287	20,393	16,329	11,434	34,697	22,055						
(事業費+人件費)		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
財源	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定財源 (①+②+③)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	8,287	20,393	16,329	11,434	34,697	22,055						
	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額



事業費の年度推移

予算額 実績額 執行率

35,000 120.0%

30,000 100.0%

25,000 80.0%

20,000 60.0%

15,000 40.0%

10,000 20.0%

5,000 0.0%

0

令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度

特記事項

活動指標については、令和5年度までは「過去5年以内に2回以上の寄附があり、該当年度に寄附のあった団体数」を、令和6年度から寄附に繋がる有効な検証ができるよう「寄附を集める活動をした、区主催または後援のイベント数」としました。
成果指標の年間寄附総額における令和6年度の増は、遺贈による寄附があつたためです。それに伴い令和6年度の事業費も増となりましたが、遺贈以外の寄附が少なく執行率が90%を下回りました。

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	みどりの基金積立	105	件	24,088
	みどりの基金利子積立			132
	その他 (普及啓発用品購入ほか))	1,602
取組成果	<p>寄付件数105件のうち、みどりの保全・創出の使途が62件、21,246千円、荻外荘の復原・整備が43件、2,842千円でした。令和6年度末の基金残高は、みどりの保全・創出が46,913,176円、荻外荘の復原・整備が48,568,804円となりました。</p> <p>そのほか、荻外荘関連刊行物売上800千円、荻外荘オリジナルグッズ売上797千円も荻外荘の復原・整備としてみどりの基金に積み立てました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>杉並区みどりの基金では、使途に「みどりの保全・創出」、「荻外荘公園の整備」を用意し、ともに着実な寄附のもと寄附金残高を増やしています。</p> <p>基金は保護樹林等に係る賠償責任保険の一部に活用していますが、寄附者からは成果が見えにくく、活用したことによりわかりやすく周知する必要があります。</p> <p>令和6年12月に開園した荻外荘公園については、その復原・整備において基金を活用したことをわかりやすく周知する必要があります。あわせて開園後も寄附の募集を継続し、将来の大規模修繕に活用します。</p> <p>改定に取り組んでいるみどりの基本計画において、区民（ひとりがみどりに 관심を持ち、自分ごととして行動することが重要と考えています。自分ごととして行動する一つの手段として、みどりの基金を位置づけ、区民等に幅広く寄附してもらえるよう取組を進めていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	<p>令和7年7月末時点で25件、289,069円の寄附がありました。年度末までに歳入予算500万円程度の寄附があると見込まれます。また、長寿応援ファンドの廃止に伴う各基金（社会福祉基金、NPO支援基金、次世代育成基金、みどりの基金）への充当により、みどりの基金への充当額が約838万円見込まれます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>寄附者にとって成果の見える基金使途については、杉並区実行計画において重点事業に位置付けられている市民緑地（区名称：いこいの森）の整備費用など、区民利用に供する施設整備に活用できるよう、杉並区みどりの基本計画の改定と足並みを揃えながら検討を進めています。</p> <p>荻外荘公園については、文化財として長く維持していくことに対する支援の呼びかけを行い、寄附の募集を継続します。</p>

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	<p>実行計画で重点事業となっている市民緑地（区名称：いこいの森）の整備費にみどりの基金を充当することです。寄附者にとって成果が見える基金使途に見直していきます。みどりの基金を活用して整備した市民緑地は、具体的な成果として区公式HPやみどりの基金募集パンフレット等で積極的に周知することで、さらなる寄附金の増加につなげていきます。</p> <p>荻外荘公園に関する寄附金についても、荻外荘を長く維持していくことに貢献したいと感じてもらえるようなチラシにより支援を呼びかけていきます。</p>
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	<p>市民緑地（区名称：いこいの森）の整備費などへみどりの基金を充当することで、寄附者にとって基金使途の成果が見えるようにしていきます。あわせてみどりの基金を活用して整備した市民緑地を具体的な成果として、区公式HPやみどりの基金募集パンフレット等で活用使途の周知を行います。</p> <p>また、荻外荘公園についても、自らの貢献が感じられる寄附金として運営していきます。</p>

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公衆便所の維持管理					款 05	項 04	目 03	事業 001	整理番号	410
現担当課名	みどり公園課					係名 運営第一グループ	連絡先	3573	昨年度	419	
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成					電話番号	予算事業区分	既定事業	整理番号		
事業開始	昭和28年度		分野	03	施策	11	計画事業				
令和6年度 担当課名	みどり公園課					事業評価区分	施設維持管理				

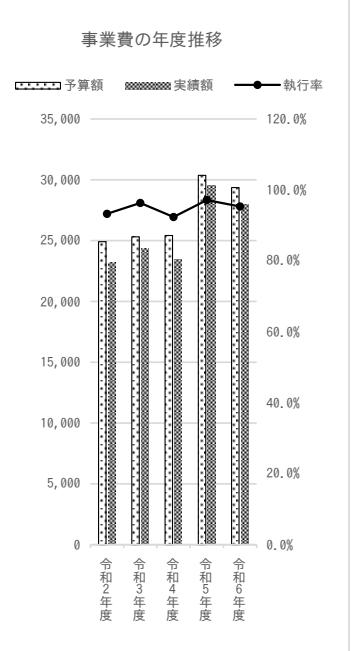
令和6年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	根拠法令等
区立公衆便所16所	杉並区公衆便所条例 地方自治法第2条第3項、281条第2項
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。	○公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。

指標、総事業費 (Plan・Do)

活動指標	指標名	指標説明	単位	計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績	実績額	実績		実績	実績	実績	実績
	達成率	達成率	達成率		達成率	達成率	達成率	達成率
成果指標	計画	計画額	計画	計画	計画	計画	計画	計画
	実績	実績額	実績		実績	実績	実績	実績
	達成率	達成率	達成率		達成率	達成率	達成率	達成率
分類	計画	計画額	計画	計画	計画	計画	計画	計画
	実績	実績額	実績		実績	実績	実績	実績
分類	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
		事業費	予算額	24,911	25,312	25,419	30,365	29,359	34,012
人件費	千円	実績額	実績額	23,232	24,382	23,480	29,494	27,988	-
		執行率	常勤職員分(再任用含)	93.3%	96.3%	92.4%	97.1%	95.3%	-
		予算額	予算額	9,420	7,784	6,663	7,566	6,978	6,583
上記以外の職員	千円	実績額	実績額	8,635	11,409	16,632	15,872	7,094	-
		執行率	常勤職員分(再任用含)	91.7%	146.6%	249.6%	209.8%	101.7%	-
		予算額	予算額	308	1,814	1,838	1,471	3,046	3,714
総事業費 (事業費+人件費)	千円	実績額	実績額	363	1,470	1,471	1,332	3,714	-
		執行率	上記以外の職員	117.9%	81.0%	80.0%	90.6%	121.9%	-
		予算額	予算額	34,639	34,910	33,920	39,402	39,383	44,309
財源	千円	実績額	実績額	32,230	37,261	41,583	46,698	38,796	-
		執行率	受益者負担分①	93.0%	106.7%	122.6%	118.5%	98.5%	-
		予算額	予算額	0	0	0	0	0	-
国・都からの補助金②	千円	実績額	実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	国・都からの補助金②	-	-	-	-	-	-
		予算額	予算額	0	0	0	0	0	-
その他の補助金等③	千円	実績額	実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	その他の補助金等③	-	-	-	-	-	-
		予算額	予算額	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	実績額	実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	特定財源 (①+②+③)	-	-	-	-	-	-
		予算額	予算額	0	0	0	0	0	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	実績額	実績額	34,639	34,910	33,920	39,402	39,383	44,309
		執行率	差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	93.0%	106.7%	122.6%	118.5%	98.5%	-



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	地域別ブロック方式清掃業務委託	15	所	23,224
	公衆便所の光熱水費の支出	16	所	3,255
	公衆便所の維持補修		式	685
	その他 (公衆便所の樹木管理等)			824

取組成果	区内16箇所に設置している公衆便所維持管理のため、日常清掃、設備の改修・修繕等を実施しました。また、高円寺駅北口公衆便所ほか4か所の修繕等を行いました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	年間計画に基づいた定期的な清掃の実施など、計画的に公衆便所の維持管理を実施しました。今後も継続して取り組んでいきます。
事業の方向性・改善策	施設が経年劣化していく中で、清潔で利用しやすい公衆便所を提供していくためには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があるため、バリアフリー化を伴う改修工事を行う必要があります。今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘案したうえで、計画的に改修をしていきます。また、日常の維持管理面においては、利用者の利便性・快適性の向上を図るため、特別清掃の実施など利用者のサービスの充実を図っていきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	今後も、公衆便所の定期的な清掃・管理及び機能を保持するための維持補修を行っていきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公園緑地事務所等の管理運営					款 05	項 04	目 04	事業 001	整理番号	411
現担当課名	みどり公園課					係名 運営第一グループ	連絡先	内線3573	昨年度	420	
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成					電話番号	予算事業区分	既定事業	整理番号		
事業開始	昭和47年度		分野	03	施策	11	計画事業				
令和6年度担当課名	みどり公園課					事業評価区分	施設維持管理				

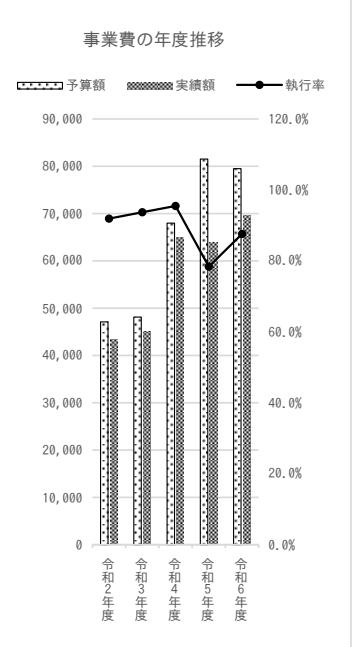
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 都市公園法、杉並区立公園条例、同条例施行規則 杉並区公園緑地事務所処務規程
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	計画	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
成果指標	達成率	-	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
分類	達成率	-	-	-	-	-	-
	計画	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
分類	達成率	-	-	-	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	47,098	48,123	67,981	81,527	79,494	78,079
		実績額	43,287	45,096	64,908	63,901	69,623	-
		執行率	91.9%	93.7%	95.5%	78.4%	87.6%	-
人件費	千円	予算額	26,966	30,452	28,096	27,430	22,496	29,198
		実績額	34,347	29,848	26,013	26,009	22,982	-
		執行率	127.4%	98.0%	92.6%	94.8%	102.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	1,540	5,079	5,145	3,310	4,188	4,179
		実績額	1,451	2,573	2,575	2,284	5,107	-
		執行率	94.2%	50.7%	50.0%	69.0%	121.9%	-
(事業費+人件費)	千円	予算額	75,604	83,654	101,222	112,267	106,178	111,456
		実績額	79,085	77,517	93,496	92,194	97,712	-
		執行率	104.6%	92.7%	92.4%	82.1%	92.0%	-
財源	千円	受益者負担分	0	0	0	0	0	-
		①	0	0	0	0	-	-
		国・都からの補助金	0	0	0	0	0	-
②	千円	実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
		③	0	0	0	0	-	-
④	千円	その他の補助金等	0	0	0	0	-	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
⑤	千円	特定財源	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
⑥	千円	差引：一般財源	75,604	83,654	101,222	112,267	106,178	111,456
		(総事業費-特定財源)	79,085	77,517	93,496	92,194	97,712	-
		執行率	104.6%	92.7%	92.4%	82.1%	92.0%	-



特記事項

電気や水道など光熱水費の使用量を抑えられたこと、施設等の修繕、工事予定などを見直したことにより、執行率が低くなっています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	公園緑地事務所等の光熱水費の支出	11	所	14,461
	公園緑地事務所等の警備・設備保守等委託	11	所	19,028
	公園緑地事務所等の清掃	9	所	14,488
	公園緑地事務所等の通信運搬費	12	所	1,538
	その他 (公園緑地事務所等の管理運営費 (上記以外))			20,108

取組成果	南・北公園緑地事務所 (2所) 及び公園管理事務所 (13所) の維持管理を行ったほか、角川庭園・幻戯山房の茶室の修繕を行いました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込み含む)	事務所清掃や各種設備保守点検、角川庭園の茶室など必要に応じた修繕等を実施しました。
事業の方向性・改善策	大規模公園等の施設の維持管理に関しては、老朽化により設備等の修繕が増加しており、引き続き適切な安全管理と計画的な施設保全に取り組む必要があります。また、近年、夏季の気温上昇は顕著であり、公園緑地事務所及び公園管理事務所に従事する職員の健康リスクが深刻化しています。高温下での屋外作業は、熱中症を引き起こす可能性が高く、職員の安全確保の改善を図る必要があります。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	今後も公園緑地事務所及び公園管理事務所の維持管理を適切に行っていきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	近年、夏季の気温上昇により、従事する職員の健康リスクが深刻化しており、高温下での屋外作業は、熱中症を引き起こす可能性が高く、職員の安全確保は喫緊の課題となっているため、ファン付き空調服を着用など熱中症対策を強化する必要があります。